

飲水思源

町長 松岡市郎

身近なところの宝物探し

北海道新聞社主催の旭川新年交礼会に今年も出席した。三塚支社長はご挨拶の中で、昨年写真甲子園閉会式で立木義浩審査委員長が語った「東日本の大震災で自然への見方が変わったのではないか」という言葉を紹介し、「厳しい経済情勢の中で、何か明るい兆しを求めて努力しているが、そのヒントや材料は案外身近なところにある」と結んだ。

日常生活の中で「こんなもの」「これが邪魔なんだ」「ごみ」などと思っっているものが、他の人々にとって大切な宝物や価値であったりする場合がある。東日本大震災では「水」「空気」「緑」などの自然、「家族」「友人」など人と人の絆の大切さ、そして「ここが私の居場所」と語れる住居の大切さなどを学んだのである。

「当たり前前に存在しているものの価値」に気がついた人は多いはずだ。恥ずかしいことではあるが、私もその一人である。今年、私たちの周りに存在している価値、宝物探しをしてみたい、と考えている。小さなものから大きなもの、マイ

ナスと考えられていたものなど、案外「えっ」と思えるものが出て来そうである。それが北海道一、日本一となる場合があるかも知れない。例えば、「雪」「地下水」「森」「涼しさ」「落葉」：など。まだまだある。

本州の人々に東川町を紹介する時、私は「おいしい水、うまい空気、豊かな大地」が自慢の写真の町、そして豊かな大地には、3つの道『上水道』『国道』『鉄道』がない」と話している。

「素晴らしい人々と大きな道がある。それは北海道である。この北海道の中で旭川空港と旭山動物園に日本一近い町が『写真の町・東川町』です」と。

「私が選ぶ東川の自慢と宝物は北海道一、日本一探し」を住民の皆さんに聞いてみたい。身近なところから自慢できる宝物を提言してほしい。どんなものが出てくるか楽しみである。宝物を発見し、私たちが口ずさむことによって、まちの宣伝や活性化につながっていくのかも知れない。さあ探そう、周りの「北海道一、日本一!!」

文化交流館 新刊図書・ビデオ案内

★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています

貸し出し期間は、図書は1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間です。返却期間を守りましょう(夜間返却窓口もご利用ください)。



第5回大雪山忠別湖トライアスロンDVD
(ふるさと、DVD)
北海道録画センター

スイム、バイク、ラン3種目で競う鉄人競技トライアスロン。2011年8月7日、忠別湖で開催した第5回大会の記録DVDです。道内外から参加した379名の選手が競い合ったレースの模様、完走者すべてのフィニッシュシーンを収録。(60分)



ふくろうのダルトリー
文/乾栄里子 絵/西村敏雄
刊/ブロンズ新社

昼の間は眠って夜に飛び回る。そんなふくろうのダルトリー唯一の話し相手はお月さま。お月さまがだんだん青白くやせてくると、いつもダルトリーは心配して塔のてっぺんにりんごを置きました。その思いがこもった小さなりんごはころころ転がって、町のだれかに小さな幸せを運んでいきます。



世界一のあきらめなれない心
(一般書)
著/江橋よしのり 刊/小学館

「ワールドカップの決勝という最高の舞台でアメリカとやれるということは、サッカーの神様がチャンスくれたのだと思います」。厚い壁を前にしてそう言える女子キャプテン澤の心は「準備を尽くした」「本番でも力を出し切れる」という自信に満ちていた。イングランド戦完敗後、空中分解の危機にひんしたチームを引っ張り、ワールドカップで世界一になったなでしこジャパン栄光への軌跡。